

民生常任委員会

決算
SHINSA
開催中

○「ちょび塩」のその先へ 【健康増進課】

問：高血圧対策のちょび塩に、血圧管理が加わっているが、内容と効果は？
答：高血圧の理解を深めてもらうため、専門医による講演会を実施。高血圧が循環器疾患を引き起こす要因となるので、血圧の適正管理が重要です。数値的な効果はまだ出ていません。

○国保加入者の健診が課題 【健康増進課】

問：特定健診の対象とならない40歳未満の健診状況は？
答：30代は「30歳代健診」がありますが、29歳以下は自身で健診を受けるしかありません。

	対象者数	申込者数	実績者数	要医療者数
実績	152人	49人	43人	13人

○コロナ補助金終了後の病院運営 【病院事業局】

問：コロナ補助金が終了し、5億円以上の赤字となっていますが、要因と今後の対策は？
答：10年前と比べ、外来患者数が45%減少、入院患者数が37%減少したことが、大きな要因です。積極的な時間外対応などにより地域住民に信頼され、オンライン診療などにより島の実情にもなじむ医療提供体制にしたい。

○思春期教室を全生徒が受けられる仕組みに 【健康増進課】

問：中3対象、2中学校を隔年で実施しているため、受講できない学年があります。2、3年生を対象にしたり、両中学校で毎年するなど全員が受けられるようにすべきでは？
答：学校からの要望で実施していますが、学校と相談します。

○3つの子育て支援センターの実績に大きな差 【福祉課】

問：委託額は全センター同額なのに、相談件数に大きな差があるのは？
答：新規事業を多く立ち上げた支援センターの相談件数が多くなっています。



子育て支援センター

○看護学生の確保 【病院事業局】

問：定員割れの原因と対策は？
答：周辺大学への看護学科開設が一因です。寮費の削減、学生募集のエリア拡大、ハワイ研修のPR、他大学と連携したオンライン授業を検討します。



大島看護専門学校

建設環境常任委員会

決算
SHINSA
開催中

○公式LINEの「道路異常通報」を 庁内で迅速に共有して 【施設整備課】

問：総合支所だけではなく実際に管理する担当課も把握しておくべきでは？
答：素早く対応できるよう最寄りの総合支所に通知が行き、必要に応じ担当課にも情報共有しています。今後は同時に担当課にも通知が行くよう協議します。

○調査結果をどう生かす？ 【商工観光課】

問：観光客満足度調査の結果と活用方法は？
答：日帰り客が83.5%と多いことがわかったので、観光協会とともに宿泊してもらえるような事業を考えています。

○非常時水源はすぐ使える？【水道課】

問：断水の際、非常時水源を使うにはどのくらい時間がかかる？
答：年1回水質検査をしていますが、断水時は念のため検査し結果を待って数日後になります。
問：令和7年度からの水道事業広域化後も水源管理は継続できる？
答：広域水道企業団に移管する方向で進めています。



非常時水源入り
臨時給水所マップ

○地域ねこ対策の効果は？ 【生活衛生課】

問：地域ねこ活動の支援が3年目になりますが、目に見える効果は？
答：数値的な増減は示せませんが、活動実績は把握しており確実な活動が行われています。

	決算額	申請数
令和3年度	200,000円	2
令和4年度	558,000円	5
令和5年度	724,000円	8

○下水道事業の成果と課題、改善策は？ 【下水道課】

答：下水道普及率は上昇しています。経費回収率の目標50%に対し、25.4%の実績。固定費の委託料や手数料の圧縮により経費回収率の向上を図りたい。

○過去の事業の検証をどう生かす？ 【農林水産課】

問：農業担い手対策効果分析業務の結果は？それを踏まえて何をする？
答：久賀・大島地区は本土に近く若年層が就農しやすく、東和・橘地区は定年帰農者が増えています。現在策定中の「大島かんきつ産地承継プラン」で、単価アップ、優良農地の確保、規模拡大などを盛り込みます。